



平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所 東  
 コード番号 7809 URL <https://www.kotobukiya.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一行  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 村岡 幸広 (TEL) 042-522-9810  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	6,575	10.9	477	△21.5	428	△25.7	291	△25.5
29年6月期第3四半期	5,932	—	608	—	576	—	391	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年6月期第3四半期	111.96		106.89					
29年6月期第3四半期	163.35		—					

- (注) 1. 当社は、平成28年6月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 平成29年7月21日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成30年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。  
 3. 平成29年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社は平成29年6月期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。また、平成30年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は、平成29年9月26日付で東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ上場したため、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	7,768	—	2,693	—	—	34.7
29年6月期	7,452	—	1,882	—	—	25.3

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 2,693百万円 29年6月期 1,882百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	51.00	51.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成29年7月21日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成29年6月期の期末配当金額については当該株式分割前の金額を記載しております。  
 3. 平成30年6月期(予想)の期末配当金については未定です。

3. 平成30年6月期の業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,368	4.5	634	34.2	550	26.5	358	42.5	136.40

- (注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成30年6月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(300,000株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年6月期3Q	2,710,500株	29年6月期	2,397,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年6月期3Q	－株	29年6月期	－株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年6月期3Q	2,604,229株	29年6月期3Q	2,397,000株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や所得増加に伴う消費の持ち直しにより緩やかな回復基調にあるものの、海外については中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響等により、依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、ヘッドマウントディスプレイ機器の普及が進み、映像による仮想現実の没入体験ができるバーチャルリアリティ技術により新たな市場が創出され、期待と注目がされております。

このような環境の下、当社はフィギュア、プラモデル製品等の企画・開発・販売を行う卸売販売、直営店舗・ECサイトによる製品の販売を行う小売販売に取り組んでまいりました。

当社オリジナルコンテンツの「フレームアームズ・ガール」では、新製品の追加に加え、平成29年10月に初の単独イベントとなる「フレームアームズ・ガールLIVESHOW!若葉女子高文化祭～Autumn～」、平成29年11月にシンガポールにおける「C3アニメフェスティバルアジア2017」、平成30年1月に「フレームアームズ・ガールLIVESHOW!若葉女子高文化祭～後夜祭～」、平成30年3月に東京ビッグサイトにおいて開催された「AnimeJapan2018」等のイベントへの出展又は開催を行うことにより主力コンテンツとして確立できるよう取り組んでまいりました。その結果、当コンテンツの関連製品が好調に推移し業績に貢献しました。「メガミデバイス」については、朱羅シリーズが好評を頂いておりシリーズとして好調に推移しております。また、当事業年度から販売を開始した「ヘキサギア」についても大きな反響をいただいております。今後も期待できるタイトルに成長しつつあります。他社ライセンスの製品については、ゲームのヒットにより「PERSONA 5」、「刀剣乱舞-ONLINE-」、「fate/Grand Order」の関連製品が好調に推移しました。また、アニメのヒットにより、「メイドインアビス」、「ユーリ!!!on ICE」の関連製品が好調に推移しました。

海外市場では、北米・欧州については平成29年7月公開の映画「スパイダーマン：ホームカミング」、平成29年11月公開の「ジャスティス・リーグ」、平成29年12月公開の映画「スター・ウォーズ/最後のジェダイ」の関連製品の販売を行いましたが、全体的に受注が伸び悩み減収となりました。一方でアジアについては「フレームアームズ・ガール」「メガミデバイス」の新製品を中心に好調に推移しました。

直営店舗、ECサイトによる小売販売につきましては、「フレームアームズ・ガール」シリーズの直営店限定商品やブルーレイディスクが好調に推移し、業績を牽引いたしました。また、直営店舗では「テイルズオブシリーズ」のイベント、平成29年9月に開催した「PERSONA 5」、平成30年3月に開催した「THE IDOLM@STER SideM」のイベントが盛況な結果となり、各コンテンツの関連商品が業績に貢献しました。

当第3四半期累計期間の業績につきましては、上記取り組みの結果、売上高は前年同期比で増収となりましたが、アニメ「フレームアームズ・ガール」に関する償却費の増加や新製品の金型償却費の増加、人員の増加に伴う人件費の増加等による影響で前年同期比で減益となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,575,658千円(前年同期比10.9%増)、営業利益は477,901千円(前年同期比21.5%減)、経常利益は428,195千円(前年同期比25.7%減)、四半期純利益は291,566千円(前年同期比25.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は7,768,691千円となり、前事業年度末に比べ315,921千円(4.2%)の増加となりました。

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,933,059千円で、前事業年度末に比べ591,389千円(17.7%)増加しております。現金及び預金の増加638,513千円、売掛金の減少110,564千円が主な要因であります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は3,835,632千円で、前事業年度末に比べ275,467千円(6.7%)減少しております。建物の減少106,776千円、その他に含まれる工具、器具及び備品の減少121,828千円が主な要因であります。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,740,957千円で、前事業年度末に比べ256,627千円(12.8%)減少しております。短期借入金の増加200,000千円、買掛金の減少129,479千円、その他に含まれる1年以内返済長期借入金の減少127,757千円、未払消費税の減少81,499千円が主な要因であります。

#### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は3,334,288千円で、前事業年度末に比べ237,923千円(6.7%)減少しております。長期借入金の減少248,302千円、社債の減少10,000千円が主な要因であります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は2,693,446千円で、前事業年度末に比べ810,471千円(43.0%)増加しております。新株発行及びストック・オプションの行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ279,827千円増加したこと並びに四半期純利益291,566千円を計上したことによる増加があった一方で、配当金の支払いにより40,749千円減少したことが主な要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月26日付「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました平成30年6月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,100,809	1,739,323
売掛金	824,376	713,812
商品及び製品	639,333	753,292
未着品	9,565	19,312
仕掛品	285,298	283,296
貯蔵品	4,292	3,767
その他	583,283	513,085
貸倒引当金	△105,290	△92,830
流動資産合計	3,341,669	3,933,059
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,358,506	2,251,730
土地	708,408	708,408
その他(純額)	581,173	413,360
有形固定資産合計	3,648,087	3,373,499
無形固定資産	136,269	110,940
投資その他の資産	326,743	351,193
固定資産合計	4,111,100	3,835,632
資産合計	7,452,770	7,768,691
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	354,004	224,525
短期借入金	400,000	600,000
未払法人税等	125,649	63,916
賞与引当金	43,458	89,984
ポイント引当金	88,399	80,998
その他	986,072	681,532
流動負債合計	1,997,584	1,740,957
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	3,254,630	3,006,328
退職給付引当金	76,794	83,910
役員退職慰労引当金	186,500	193,300
資産除去債務	14,951	15,072
その他	29,335	35,677
固定負債合計	3,572,211	3,334,288
負債合計	5,569,795	5,075,245
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,000	429,827
資本剰余金	112,500	392,327
利益剰余金	1,620,474	1,871,291
株主資本合計	1,882,974	2,693,446
純資産合計	1,882,974	2,693,446
負債純資産合計	7,452,770	7,768,691

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	5,932,002	6,575,658
売上原価	3,477,863	4,223,921
売上総利益	2,454,139	2,351,737
販売費及び一般管理費	1,845,641	1,873,835
営業利益	608,498	477,901
営業外収益		
受取利息及び配当金	591	336
受取手数料	1,623	1,447
為替差益	—	2,047
補助金収入	2,792	2,792
その他	4,023	2,329
営業外収益合計	9,029	8,952
営業外費用		
支払利息	39,417	34,851
株式公開費用	—	13,200
株式交付費	—	6,409
その他	1,633	4,197
営業外費用合計	41,050	58,658
経常利益	576,477	428,195
税引前四半期純利益	576,477	428,195
法人税、住民税及び事業税	210,446	169,234
法人税等調整額	△25,516	△32,605
法人税等合計	184,929	136,629
四半期純利益	391,547	291,566

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月26日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場いたしました。株式上場にあたり、平成29年9月25日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行300,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ276,000千円増加しております。またストック・オプションの行使13,500株により資本金及び資本準備金がそれぞれ3,827千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が429,827千円、資本剰余金が392,327千円となっております。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。